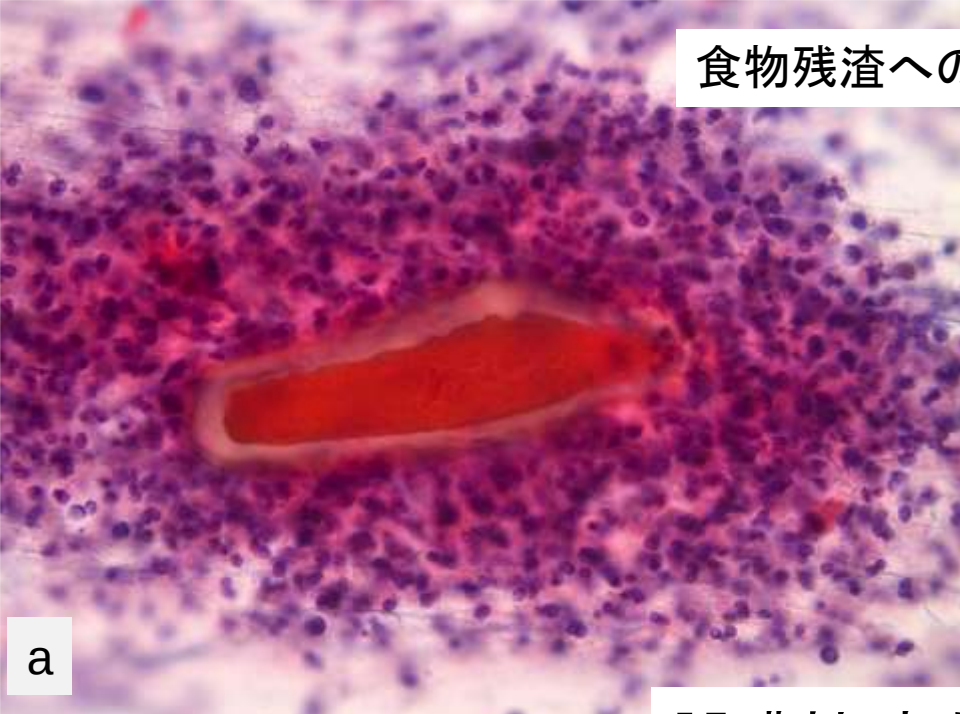
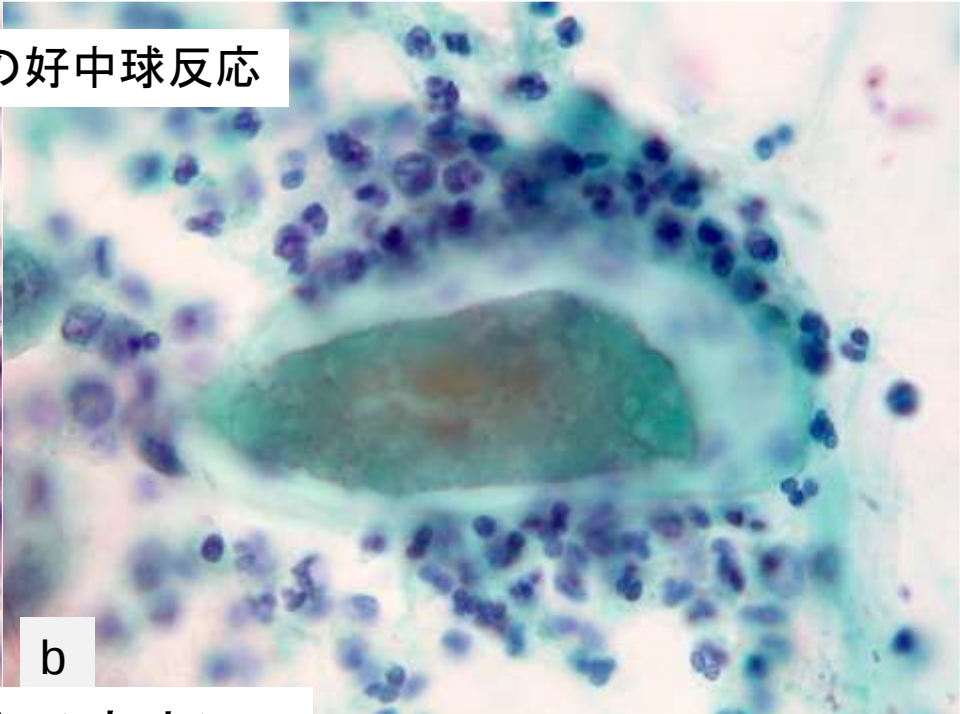


食物残渣への好中球反応



a

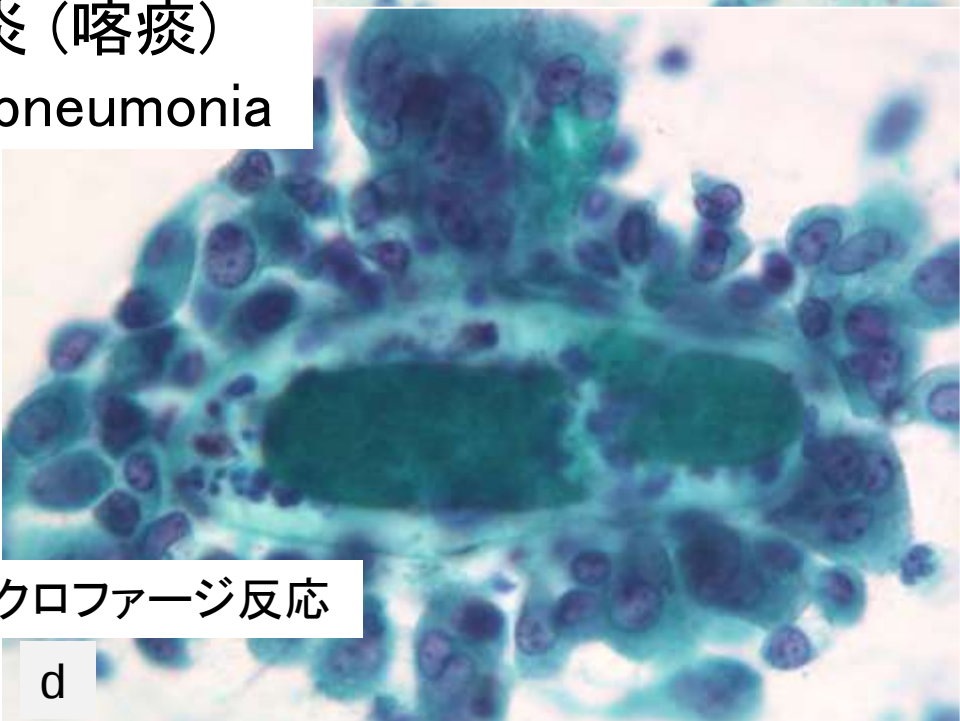


b

誤嚥性肺炎 (喀痰)
aspiration pneumonia



c



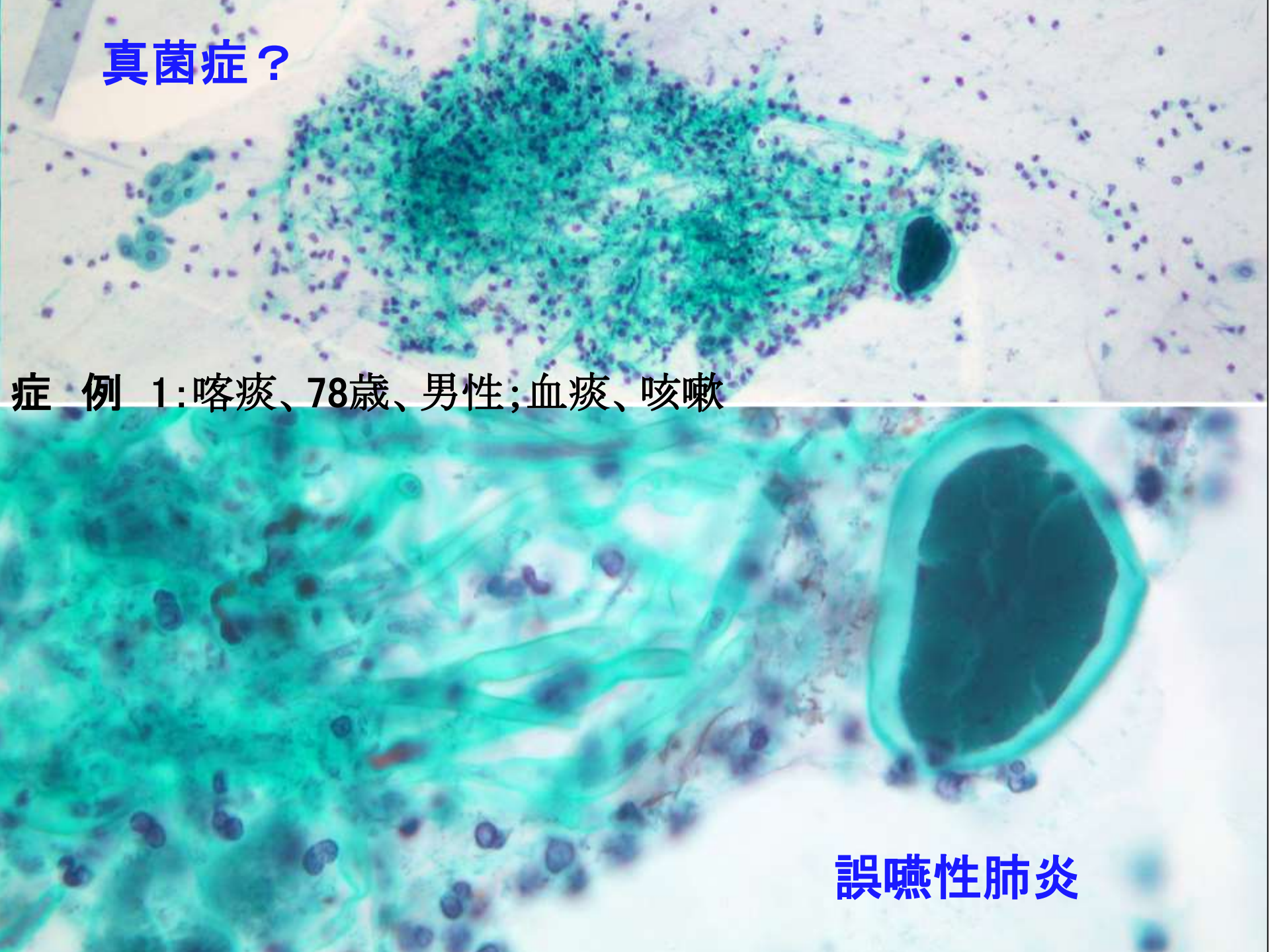
d

食物残渣へのマクロファージ反応

真菌症？

症 例 1: 咯痰、78歲、男性; 血痰、咳嗽

誤嚥性肺炎

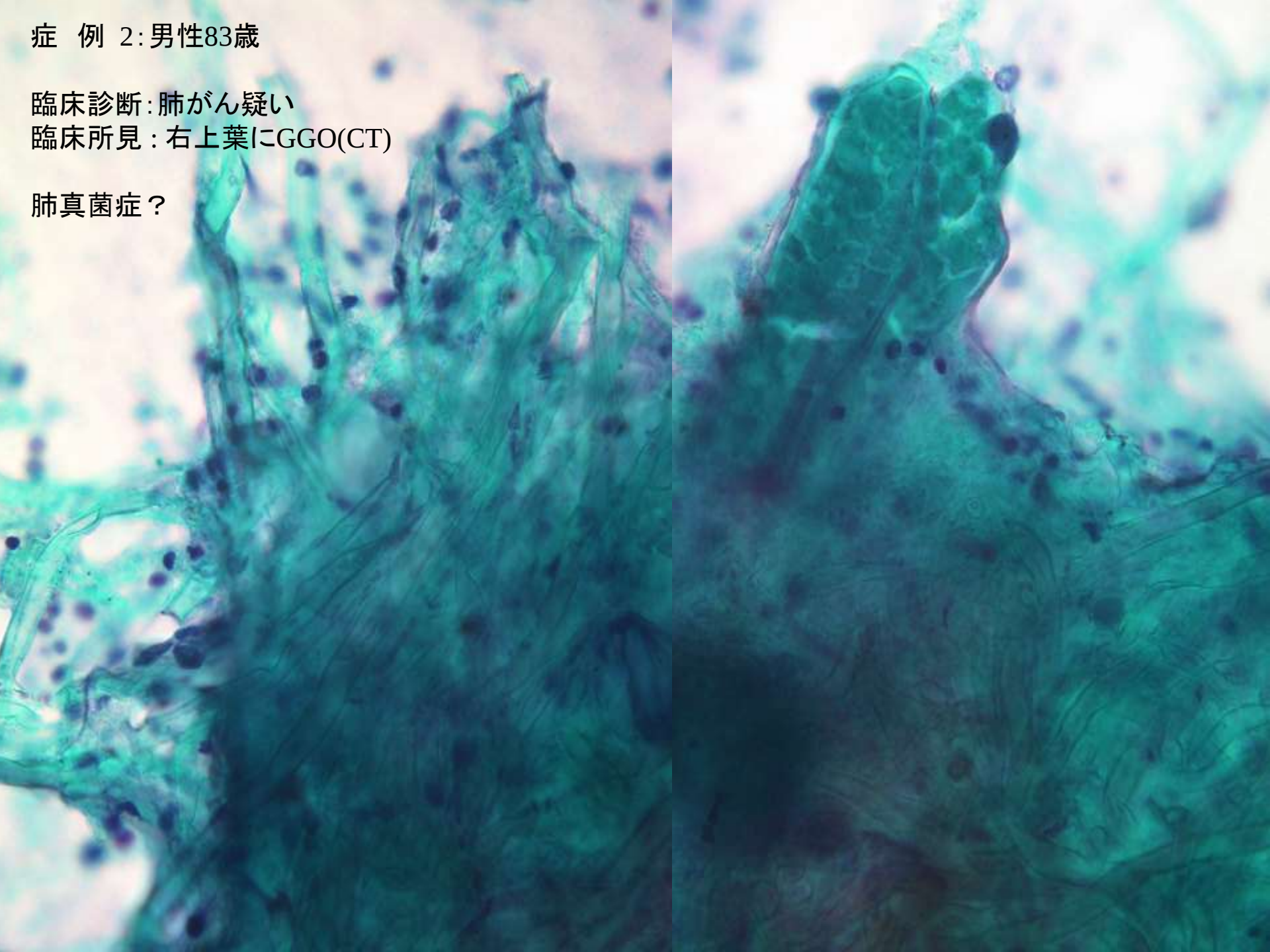


症 例 2: 男性83歳

臨床診断: 肺がん疑い

臨床所見: 右上葉にGGO(CT)

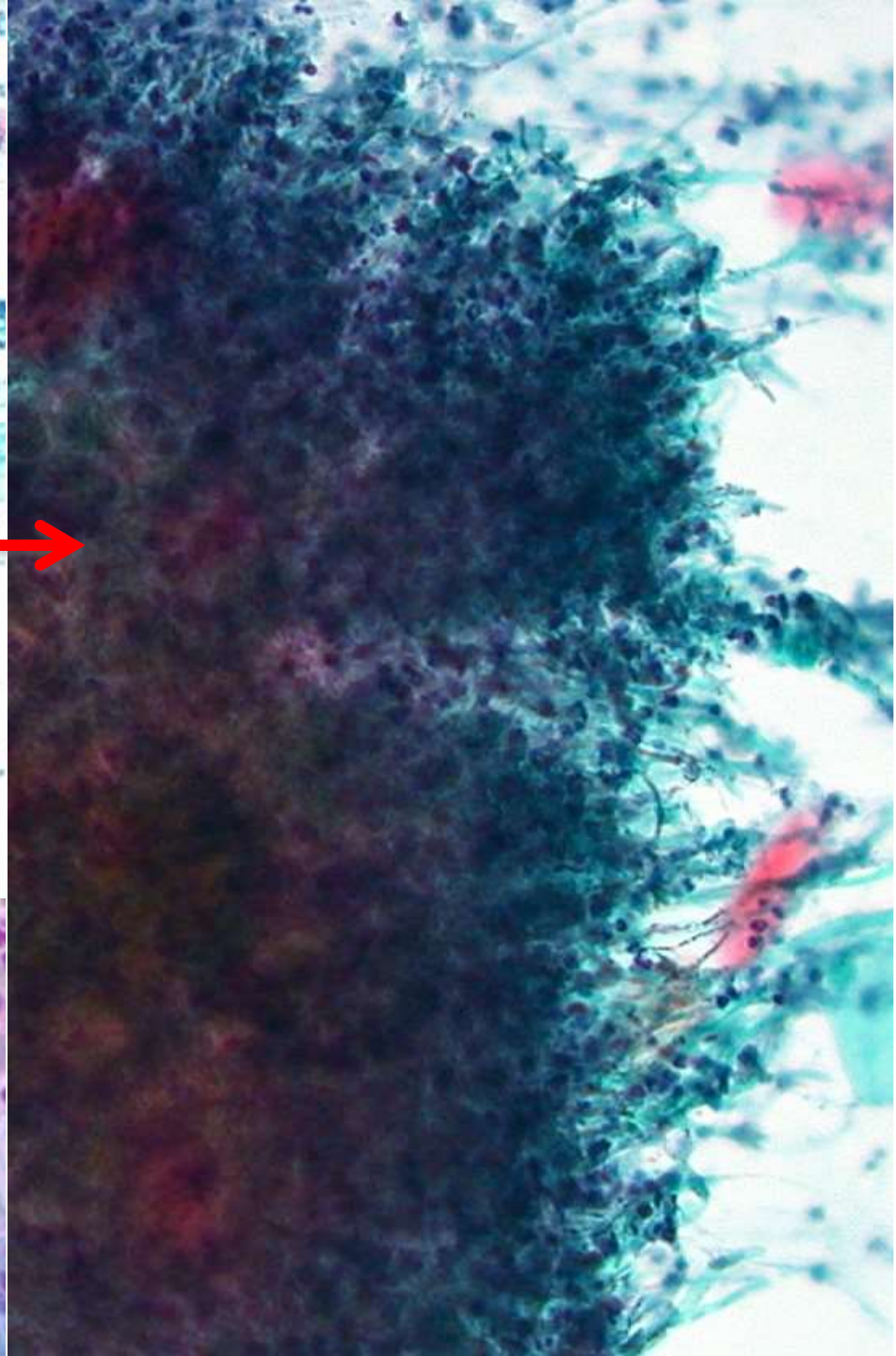
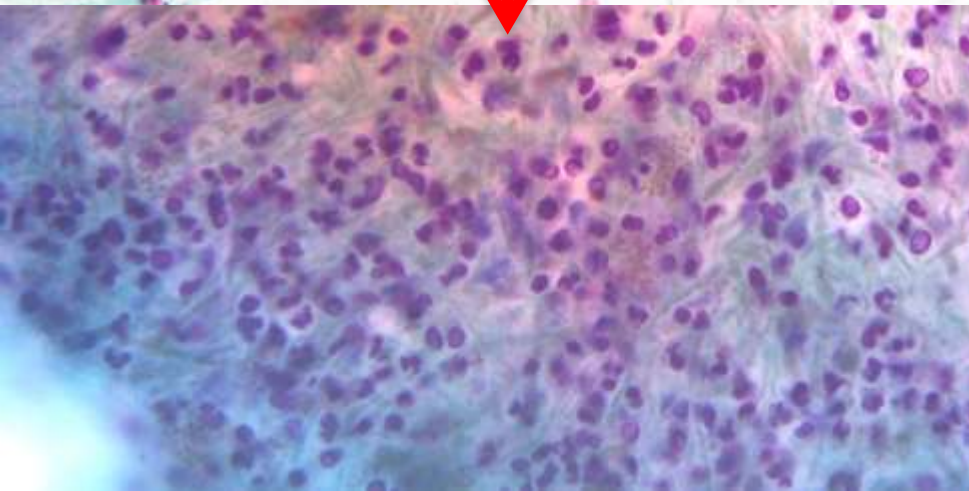
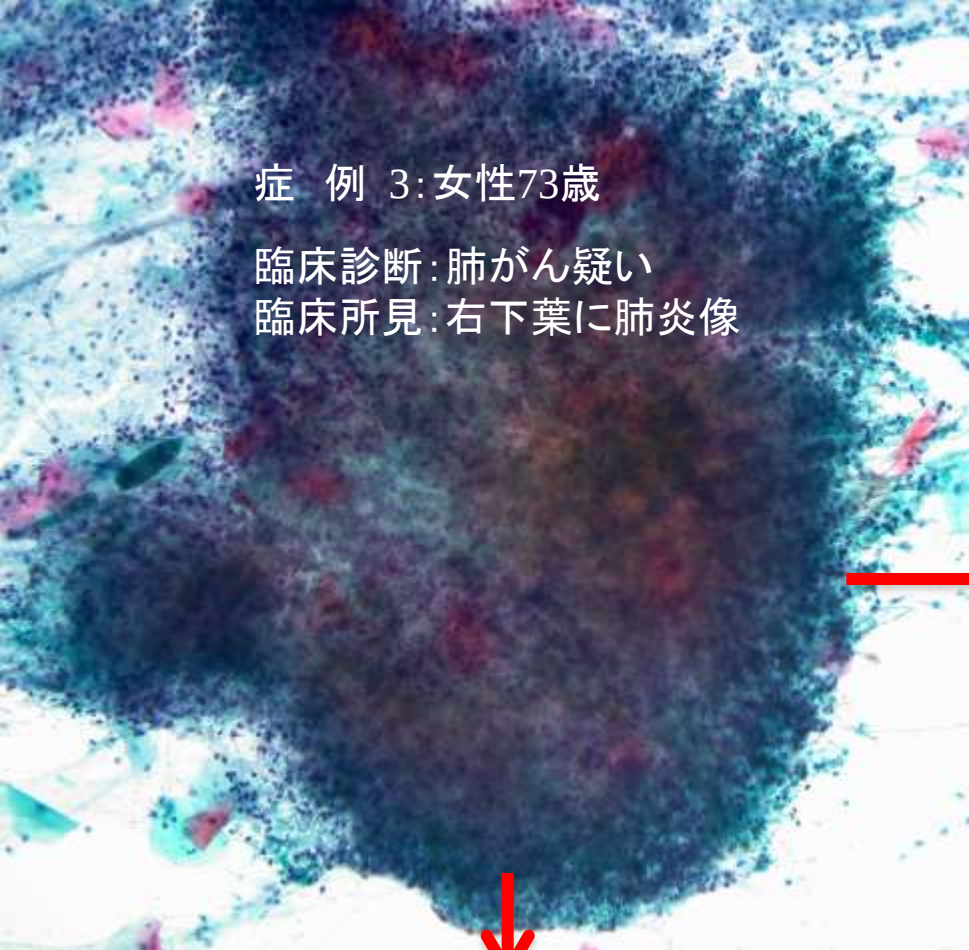
肺真菌症?



症 例 3: 女性73歳

臨床診断: 肺がん疑い

臨床所見: 右下葉に肺炎像



キノコの菌糸の特徴 キノコの核分裂によるクランプコネクションの形成

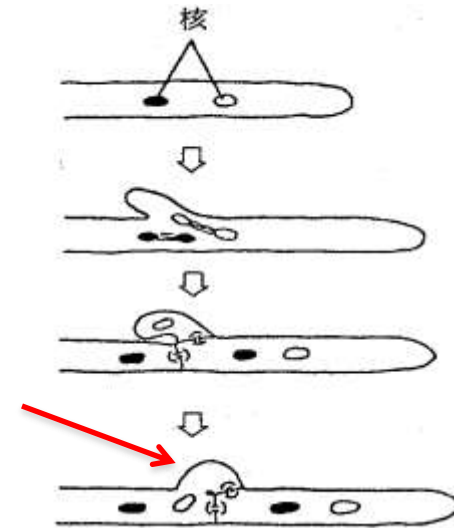
第54回日本臨床細胞学会秋季大会・要望講演5(名古屋市) 2015.11.21

「カビとキノコの世界」金沢大学 河原 栄

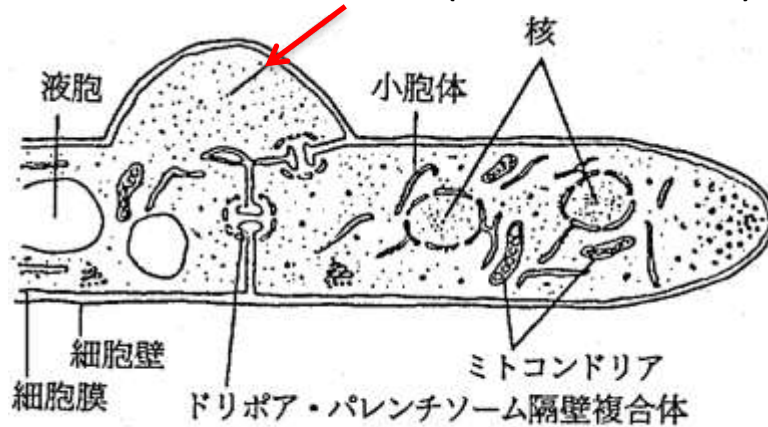
食用担子菌類は一つの細胞に2個の核を同時に持ちながら生長する。

分裂時のバイパスの痕跡がクランプコネクション(かすがい連結)として残る。

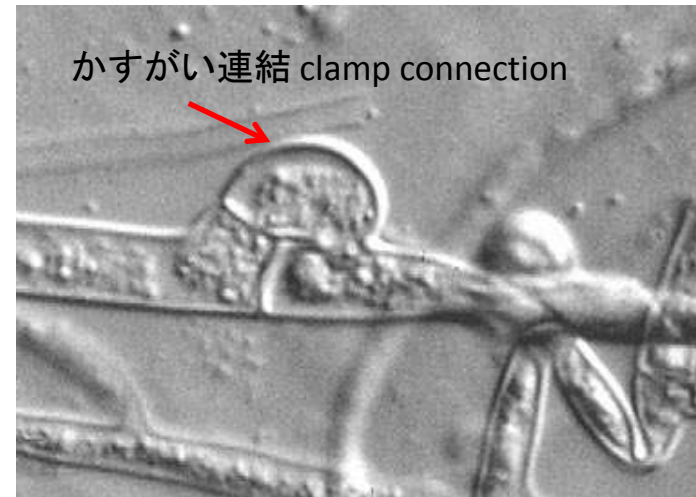
キノコの特徴的形態と言われる。



クランプコネクション(かすがい連結)

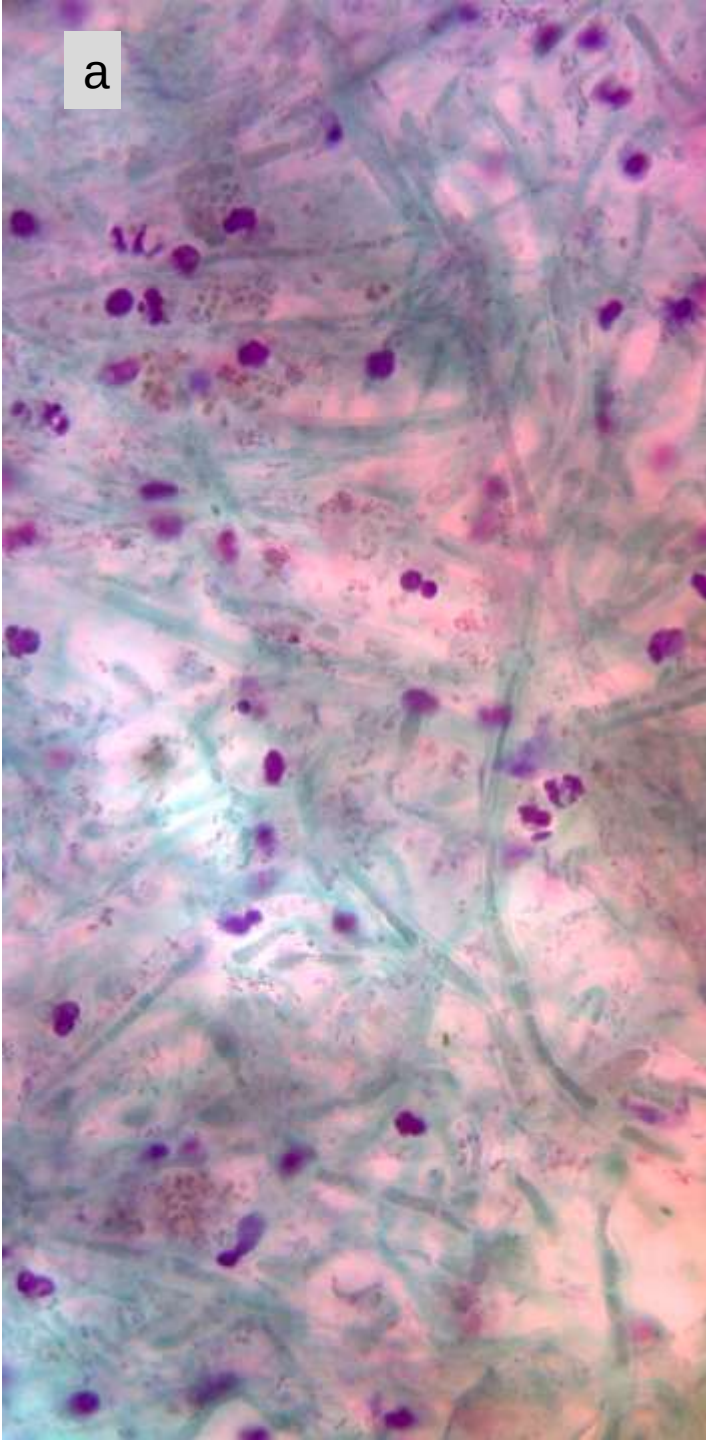


図一 1 菌糸細胞の模式図

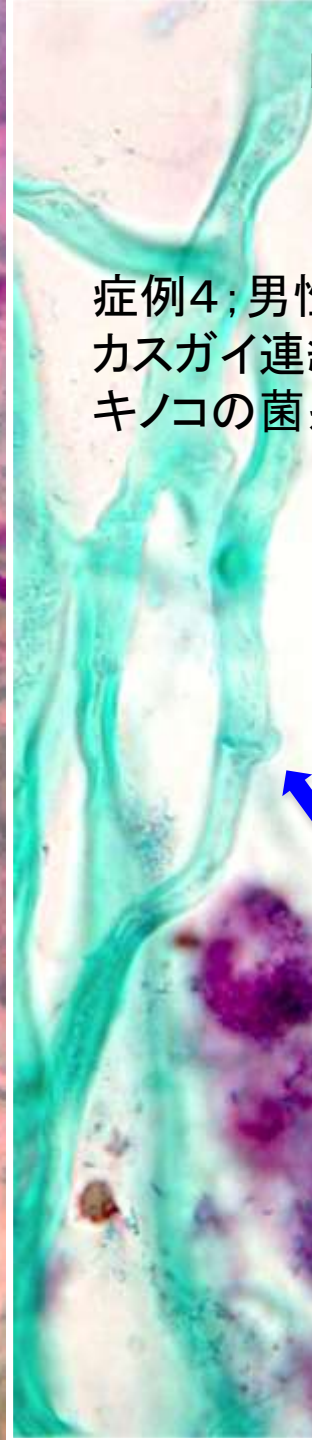


きのこの一生 (7) 一菌糸の構造 (石原)より

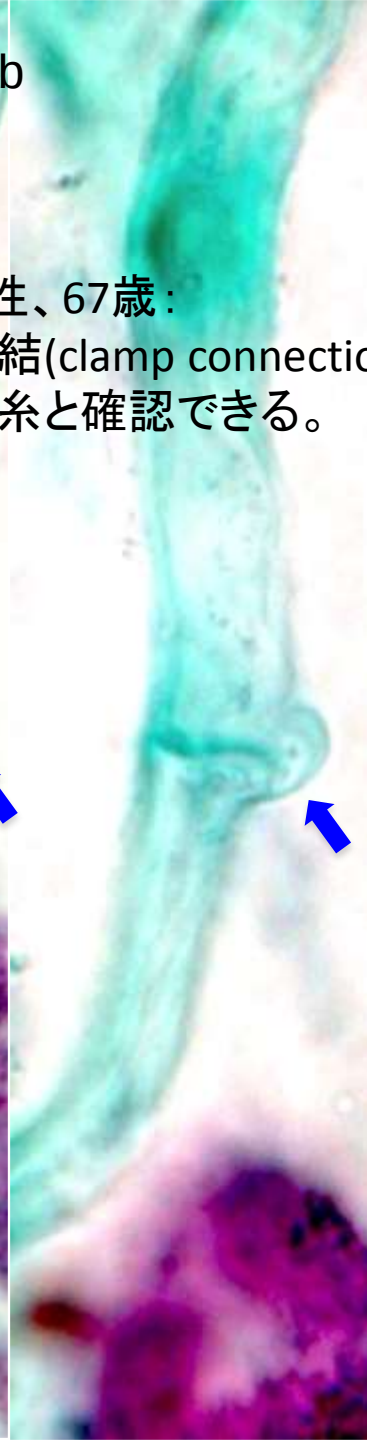
a



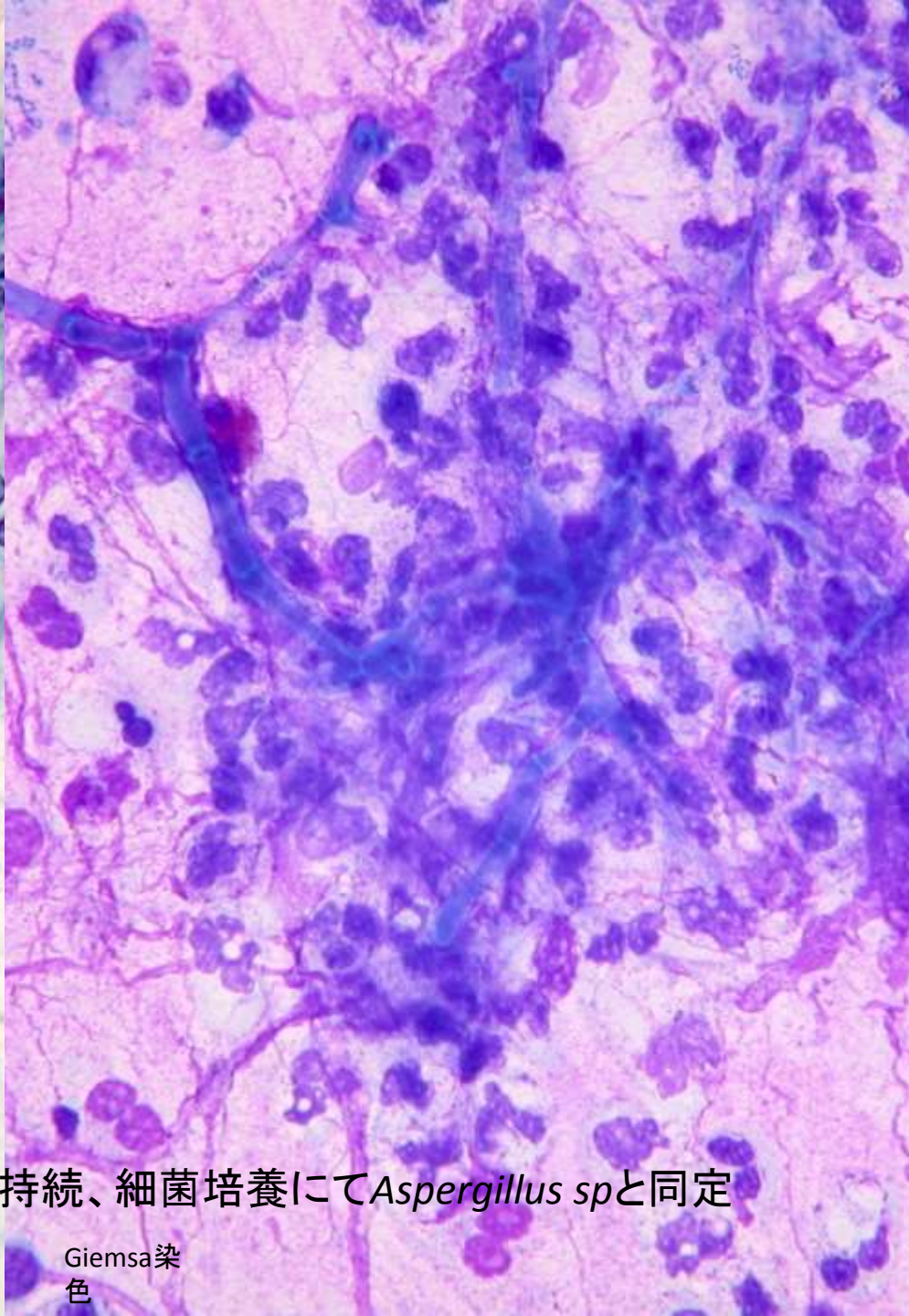
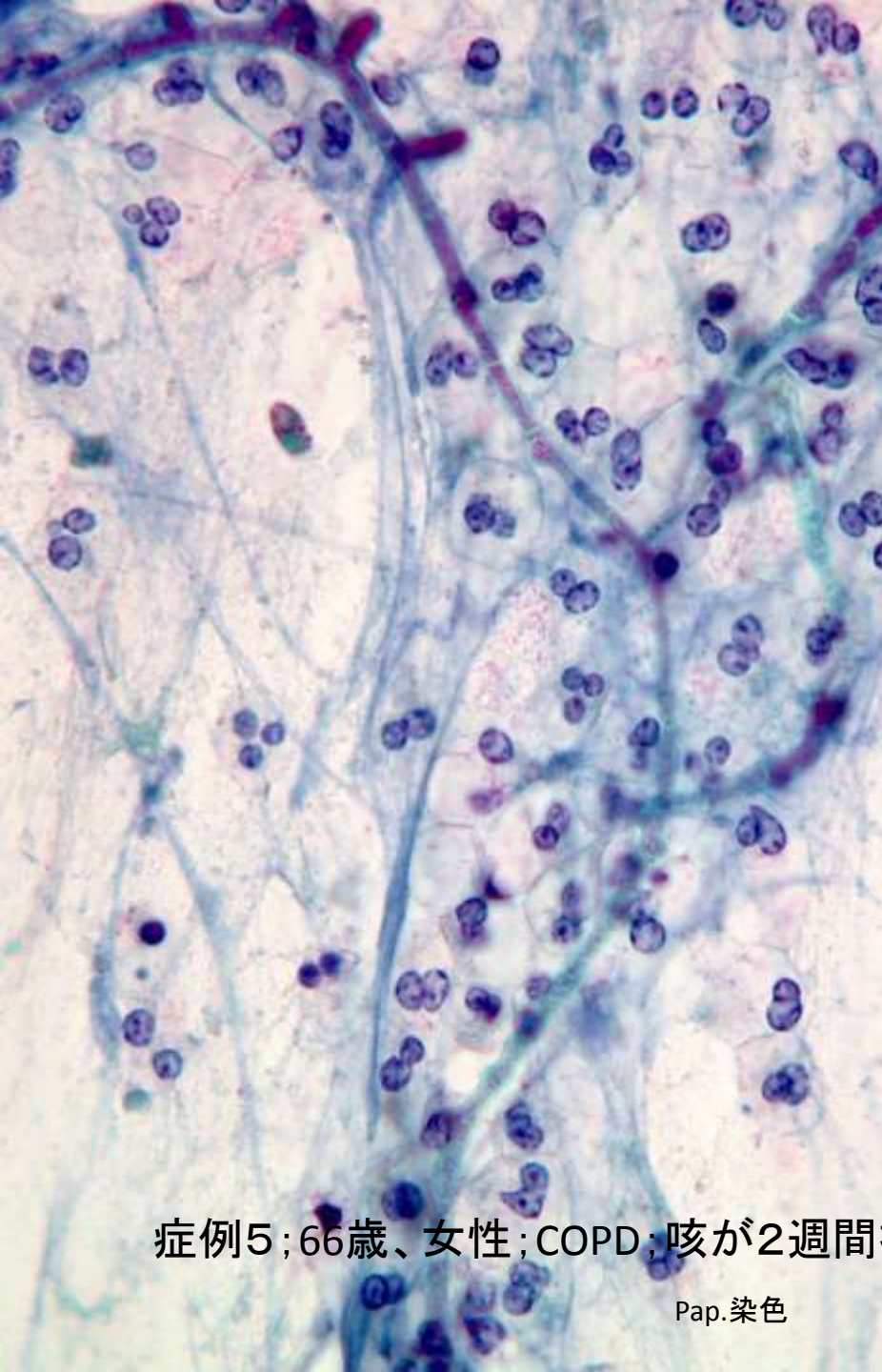
b



c



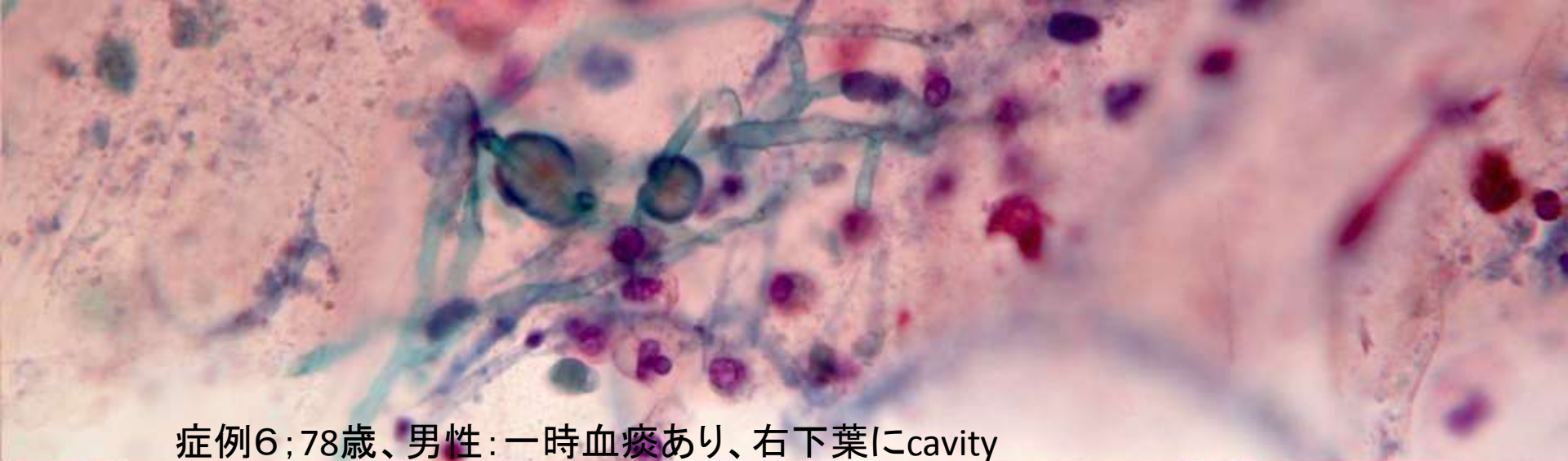
症例4; 男性、67歳:
カスガイ連結(clamp connection)をみいだすと、
キノコの菌糸と確認できる。



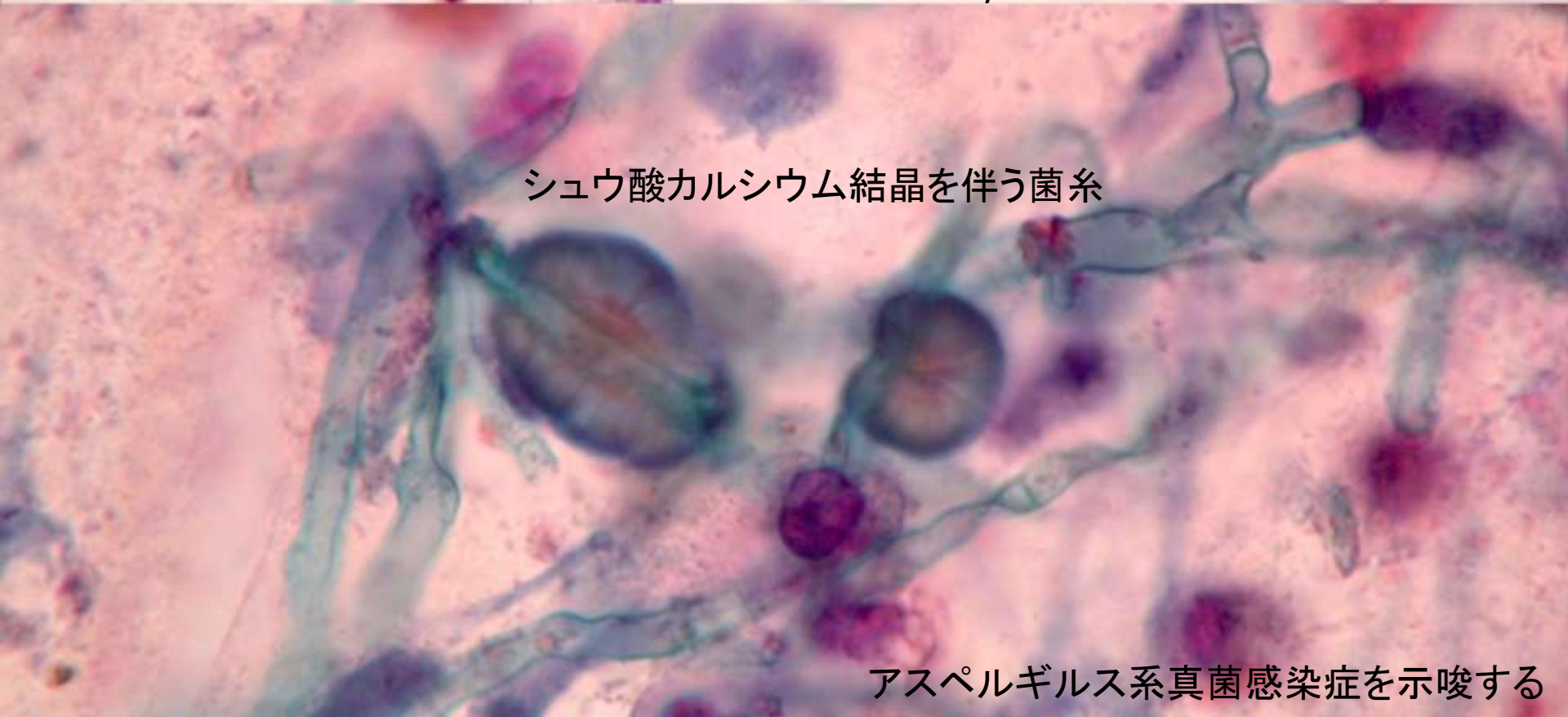
症例5 ; 66歳、女性 ; COPD ; 咳が2週間持続、細菌培養にて *Aspergillus sp* と同定

Pap. 染色

Giemsa 染色



症例6 ; 78歳、男性 : 一時血痰あり、右下葉にcavity



シュウ酸カルシウム結晶を伴う菌糸

アスペルギルス系真菌感染症を示唆する

シュウ酸カルシウム結晶

Giemsa染色

Pap.染色

Giemsa染色

症例7; 79歳、男性: 食道Ca.術後、血痰

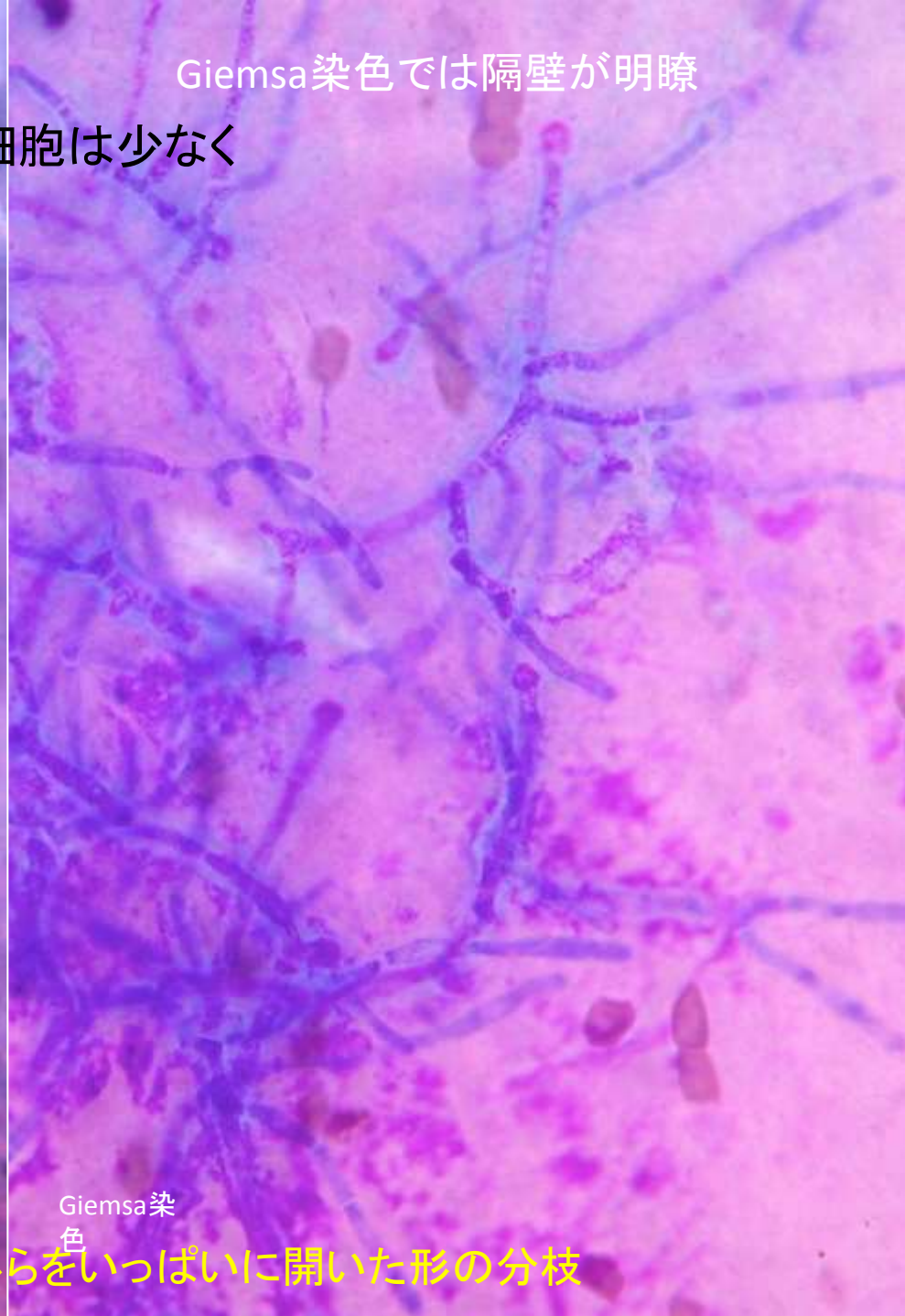
シュウ酸カルシウム結晶を別の場所に伴う
アスペルギルス系真菌感染症を意味する

精査により、上気道(副鼻腔)由来と判明

症例8； 86歳、男性；
前立腺癌骨転移、血痰、肺炎、炎症細胞は少なく
侵襲性肺アスペルギルス症の疑い



Pap.染色



Giemsa染色では隔壁が明瞭

Giemsa 染色

細く幅が均一な菌糸は、手のひらをいっぱいの開いた形の分枝

喀痰細胞診：キノコと真菌の鑑別点

	キノコ	真 菌
菌糸量	多い	少ない
菌糸幅	不揃い	ほぼ一定
集 塊	密な集塊、束状	疎な集まり、孤在性
発 育 先端部	密で閉鎖状	掌を開いた形状
隔 壁	かすがい連結	隔壁が目立つ
その他	食物残渣付着	シュウ酸カルシウム 結晶